



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 カネヨウ株式会社

コード番号 3209 URL <http://www.kaneyo-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川島 正博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役職能担当 (氏名) 山成 哲央

TEL 06-6243-6500

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,016	5.7	33	△21.7	10	△45.5	9	△40.2
25年3月期第2四半期	4,743	1.9	43	415.3	19	—	16	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.68	—
25年3月期第2四半期	1.14	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第2四半期	6,391	—	965	—	15.1	68.80
25年3月期	5,512	—	963	—	17.5	68.67

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 965百万円 25年3月期 963百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	△1.0	95	△12.8	40	△32.0	35	△60.2	2.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	14,066,208 株	25年3月期	14,066,208 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	31,396 株	25年3月期	31,396 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	14,034,812 株	25年3月期2Q	14,035,682 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。なお業績予想に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当上半期の世界の政治情勢は、中東、アフリカ地域を中心として治安が維持されず、紛争、テロ等が頻繁に起こり、米国の指導力の衰退も相まって今後の成り行きに不安が残りました。日本でも中韓との領土問題が解決の糸口を見つけれず暗礁に乗り上げ、先行きの見えない不安を抱えたままの状態が続きました。

経済環境では、米国の量的金融緩和政策の思惑が各国の金融政策、為替相場へ影響を与えました。また、中国の経済成長の鈍化も懸念されるようになっていきます。

日本では、7月の参議院選挙での自由民主党大勝利をうけ安定政権となった安倍内閣のアベノミクス効果で株価も上昇し、オリンピック東京開催の決定もあって、良い方向に向いつつありますが、原発問題、震災復興等の課題も多く先行きの不透明感はぬぐえませんでした。

このような環境下、当社は「収益力の最大化」を掲げ、各営業部ともに基本戦略を推進してきましたが、寝装用原料以外は前年同期利益実績を上回ることはできませんでした。

寝装用羽毛原料は生産国での鳥インフルエンザ発生にもかかわらず、供給量を確保し、優良取引先の開拓と拡販により業績に多大な貢献をし、営業全体を牽引いたしました。

為替の円安による採算悪化と増加した原料取引の特殊性により売上総利益率は0.27%程度悪化いたしました。が、下期以降で改善をして行きたいと存じます。

以上の結果、売上高は50億16百万円(前年同期比105.7%)、営業利益は33百万円(同78.3%)、経常利益は10百万円(同54.5%)と増収減益となりました。

しかしながら、当上半期と前年同期の販売費及び一般管理費(前年同期の貸倒引当金戻入処理11百万円)の特殊事項を考慮すると内容的には前年同期と同等以上の成果を出すことができました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末の55億12百万円に比し8億79百万円増加し、63億91百万円となりました。増加の主因は、秋冬の販売シーズンに向け商品仕入が増加している事に加え、供給が減少している羽毛原料の確保のため商品が6億57百万円増加したためであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末の45億48百万円に比し8億77百万円増加し、54億26百万円となりました。増加の主因は、借入金短期長期あわせて4億5百万円増加したためであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末の9億63百万円に比し1百万円増加し、9億65百万円となりました。増加の主因は、繰延ヘッジ利益が31百万円減少したものの、当第2四半期純利益の計上9百万円及び、その他有価証券評価差額金が24百万円増加したためであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては平成25年10月24日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で平成26年3月期第2四半期の業績予想の修正を公表しましたが、通期の業績予想につきましては、国内外の経済動向や、為替の変動、売上高や原材料価格に不安定要素が多いため、現時点では平成25年5月10日の当初発表数値のまま据え置いております。通期業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示する予定です。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	501,151	633,012
受取手形及び売掛金	3,006,831	3,074,218
商品	870,125	1,527,892
その他	152,320	148,545
貸倒引当金	△20,659	△23,492
流動資産合計	4,509,770	5,360,178
固定資産		
有形固定資産	576,777	581,072
無形固定資産	5,039	5,034
投資その他の資産	420,920	445,325
固定資産合計	1,002,738	1,031,432
資産合計	5,512,508	6,391,610
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,552,090	3,024,193
短期借入金	1,389,844	1,593,633
未払法人税等	9,896	2,261
賞与引当金	10,200	9,600
その他	241,157	274,928
流動負債合計	4,203,187	4,904,616
固定負債		
長期借入金	85,414	287,403
役員退職慰労引当金	40,643	—
その他	219,496	234,027
固定負債合計	345,554	521,430
負債合計	4,548,742	5,426,047
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	703,310	703,310
資本剰余金	138,353	138,353
利益剰余金	△343,395	△333,795
自己株式	△2,371	△2,371
株主資本合計	495,897	505,497
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100,829	125,021
繰延ヘッジ損益	66,743	34,748
土地再評価差額金	300,295	300,295
評価・換算差額等合計	467,868	460,065
純資産合計	963,766	965,563
負債純資産合計	5,512,508	6,391,610

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,743,856	5,016,179
売上原価	4,437,870	4,706,215
売上総利益	305,986	309,964
販売費及び一般管理費	262,699	276,083
営業利益	43,287	33,880
営業外収益		
受取利息	1,244	688
受取配当金	1,623	1,361
受取賃貸料	7,800	7,800
その他	222	1,768
営業外収益合計	10,890	11,617
営業外費用		
支払利息	27,349	27,062
賃貸収入原価	6,836	6,766
その他	534	1,069
営業外費用合計	34,719	34,898
経常利益	19,457	10,600
税引前四半期純利益	19,457	10,600
法人税、住民税及び事業税	3,400	1,000
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3,400	1,000
四半期純利益	16,057	9,600

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	19,457	10,600
減価償却費	5,688	5,696
無形固定資産償却費	489	375
長期前払費用償却額	199	242
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,141	2,154
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,700	△600
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,340	△40,643
受取利息及び受取配当金	△2,868	△2,049
支払利息	27,349	27,062
売上債権の増減額(△は増加)	436,412	△67,387
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△527	754
たな卸資産の増減額(△は増加)	△139,783	△657,767
仕入債務の増減額(△は減少)	△227,956	472,103
その他	10,178	29,015
小計	119,138	△220,444
利息及び配当金の受取額	2,770	1,983
利息の支払額	△27,672	△29,021
法人税等の支払額	△710	△8,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	93,527	△255,980
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△423	△10,118
長期貸付金の回収による収入	185	142
その他	6,913	△10,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,675	△20,378
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△70,000	250,000
長期借入れによる収入	100,000	335,200
長期借入金の返済による支出	△89,993	△179,422
自己株式の取得による支出	△16	—
その他	△1,981	△1,981
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,991	403,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	4,423
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	38,211	131,860
現金及び現金同等物の期首残高	575,953	501,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	614,165	633,012

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。